

2015 年度委員会抱負並びに事業活動計画(案)

委員会	会員研修委員会
担当副理事長	清原 大晶
委員長	姥ヶ谷 秀一
副委員長	河村 慎司
委員会開催日	8日・25日
L OMスローガン	
委員会スローガン	さらなる個の成長、組織の発展を目指して！
委員会抱負	
<p>公益社団法人守山青年会議所は、44年という長きに亘り「明るい豊かな社会」の実現を目指し取り組んでまいりました。我々はこの44年間の経験から引き継がれてきた歴史や伝統を守り、さらに磨きをかける必要があります。しかし、近年は会員数の減少により活動に制限が生じてきています。限られたメンバー数でオモイをカタチにするためには、個々の資質向上が重要であり、メンバー同士の強固な絆が必要不可欠となります。</p> <p>そこで本年度会員研修委員会では、研修例会の場において日本JC公認プログラムを用い、メンバーの資質向上を図ります。また、例会設営においては全員が同じ目標に向かって進んでいけるよう各委員会や会員拡大などの情報についての共有を図ります。さらに本年度新たな取り組みとして湖南4LOMでの合同例会を開催し、LOMの枠を超えて互いに成長出来ると共に交流を図れる場といたします。また新入会員育成事業を開催し、メンバーへの積極的な参加へと繋げることで、新入会員以外のメンバーにとっても多くの知識が得られ自分自身の成長につながるものと考えます。新体制の幕開けとなる新年例会ではメンバー数は減っても変わらぬ我々の熱いオモイを来賓の方々や先輩諸兄に感じていただき、本年度の方向性についてのご理解と今後の支援につなげる設営を行います。納涼例会ではご家族や日頃からお世話になっている方々の支えがあって我々が活動出来ていることに対して、感謝の気持ちをお伝えできる設営をいたします。一年間の締めくくりとなる卒業例会では本年度を振り返り、互いの労をねぎらい連綿と続いていく絆が生まれるような場といたします。</p> <p>我々会員研修委員会の取り組みによって、メンバー一人ひとりがあらゆる対外的な場面において自信と誇りを持って守山JCの魅力を発信していく広告塔となることを目指します。その結果メンバー各々がインパクトを与えるJAYCEEとなり、守山JCが活気に満ち溢れた組織となるよう委員会メンバー一同全力で取り組みます。</p>	
事業活動計画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員交流・研修に関する調査・研究（通年） 2. 新年例会の企画設営（1月） 3. 例会設営（2月） 4. 新入会員育成事業（2月～3月） 5. 4LOM合同例会設営（4月） 6. 例会ホスト企画設営（6月） 7. 納涼例会の企画設営（8月） 8. 例会設営（10月） 9. 例会ホスト企画設営（11月） 10. 卒業例会の企画設営（12月） 	
意見	
執行部会での意見・対応	
(意見) 日本JC公認プログラムを使う理由は？	
(対応) JCメンバーにとって有意義なものだと認められたプログラムであり、委員会として京都会議やサマコンにて実際に た上でメンバーに落とし込みたいと考えております。	
(意見) 会員の情報共有を図る場はどこになりますか？	

(対応) 7行目に文言を追加いたしました。
(意見) 会員拡大についての印象が強く感じられますが、いかがですか？
(対応) 19行目を訂正いたしました。
(意見) 45年間でなく44年間ではないですか？
(対応) 44年間に訂正いたしました。
(意見) フォーラムやセミナーへの参加は主に委員会メンバー向けであって、全メンバーに向けた内容ではないのでは？
(対応) 内容を精査し、訂正いたしました。
(意見) 新体制という言葉が続いている。
(対応) 本年度に訂正いたしました。
(意見) 理事長所信では広告媒体と書かれていますが、広告塔という言葉で良いですか？
(対応) 組織の宣伝の役割を果たす人となることを意味するので、広告塔という言葉を使用いたします。
(意見) 新年・納涼・卒業と説明がありますが、ひとつひとつ必要なのか？
(対応) それぞれにオモイがあることから、一括りにせず個別に記載いたします。
協議での意見・対応
その他・対応